

# 中段セット Vシリーズ 施工説明書

シナ/シェルホワイト

必ずお読みください

**NANKAI PLYWOOD 南海プライウッド株式会社**

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL (087) 825-3632	FAX (087) 825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL (087) 806-3660	FAX (087) 825-3645
	中部営業チーム	TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL (087) 825-3623	FAX (087) 825-3647
	中四国営業チーム	TEL (087) 825-3624	FAX (087) 825-3648
	九州営業チーム	TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

## 施工される方へ 施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前のご確認をお願いします。

### ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工・取扱を行った場合については当社での保証はいたしかねますのでご注意ください。

施工上の注意		<b>屋外禁止</b> 内装専用の製品です。屋外での使用はできません。
		<b>キズ注意</b> 施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。
		<b>そり・ねじれ厳禁</b> 躯体に使用する木材は乾燥材で通直な物を選んでご使用ください。
		<b>水・湿気禁止</b> 屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。
		<b>溶剤厳禁</b> 溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。
		<b>火気厳禁</b> 木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。
		<b>躯体精度</b> 躯体の垂直度、床の水平度を正確に出して施工してください。
		<b>補強</b> 間口が2Mを超える場合(例えば9尺間口など)は束などの補強材もしくは欄間などを使って充分な補強を施してください。

### ご確認ください

以下の部品がすべて揃っているかをご確認ください。

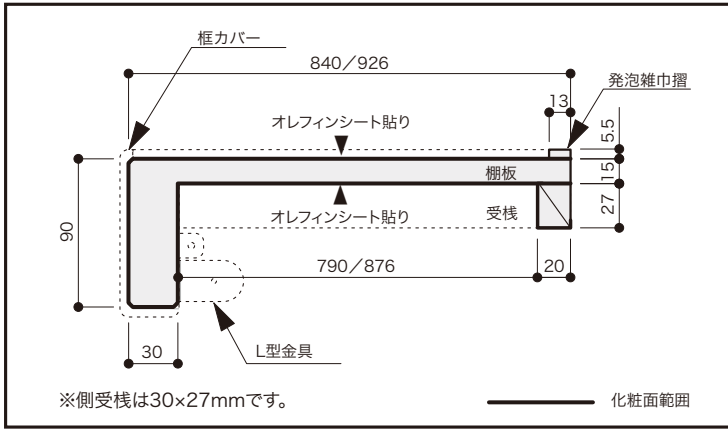
(寸法単位:mm)

尺モジュール	3尺(840×897)		4.5尺(840×1350)		6尺(840×1800)		9尺(840×2700)	
部材	サイズ	入数	サイズ	入数	サイズ	入数	サイズ	入数
棚板	90×840×897	1枚	90×840×1350	1枚	90×840×1800	1枚	90×840×2700	1枚
受棧	20×27×897	1本	20×27×1350	1本	20×27×1800	1本	20×27×2700	1本
	30×27×790	2本	30×27×790	2本	30×27×790	2本	30×27×790	2本
雑巾摺	13×5.5×897	3本	13×5.5×1350	1本	13×5.5×1800	1本	13×5.5×2700	1本
			13×5.5×897	2本	13×5.5×897	2本	13×5.5×897	2本
ビスセット	L=65(ブロンズ)	11本	L=65(ブロンズ)	12本	L=65(ブロンズ)	13本	L=65(ブロンズ)	15本
	ビスキャップセット	13セット	ビスキャップセット	14セット	ビスキャップセット	15セット	ビスキャップセット	17セット
	化粧ビスL=20(枠カバー用)	2本	化粧ビスL=20(枠カバー用)	2本	化粧ビスL=20(枠カバー用)	2本	化粧ビスL=20(枠カバー用)	2本
	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本
	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本
耐荷重シール		1枚		1枚		1枚		1枚
枠カバー(左右)	102×51×6	各1枚	102×51×6	各1枚	102×51×6	各1枚	102×51×6	各1枚
L型金具	40×25×1.6	2個	40×25×1.6	2個	40×25×1.6	2個	40×25×1.6	2個
束		-		-		-	27×40×1250	1本

メーターモジュール	1M(926×945)		1.5M(926×1445)		2M(926×1945)		3M(926×2945)	
部材	サイズ	入数	サイズ	入数	サイズ	入数	サイズ	入数
棚板	90×926×945	1枚	90×926×1445	1枚	90×926×1945	1枚	90×926×2945	1枚
受棧	27×20×945	1本	27×20×1445	1本	27×20×1945	1本	27×20×2945	1本
	27×30×876	2本	27×30×876	2本	27×30×876	2本	27×30×876	2本
雑巾摺	5.5×13×945	3本	5.5×13×1445	1本	5.5×13×1945	1本	5.5×13×2945	1本
			5.5×13×945	2本	5.5×13×945	2本	5.5×13×945	2本
ビスセット	L=65(ブロンズ)	11本	L=65(ブロンズ)	12本	L=65(ブロンズ)	13本	L=65(ブロンズ)	15本
	ビスキャップセット	13セット	ビスキャップセット	14セット	ビスキャップセット	15セット	ビスキャップセット	17セット
	化粧ビスL=20(枠カバー用)	2本	化粧ビスL=20(枠カバー用)	2本	化粧ビスL=20(枠カバー用)	2本	化粧ビスL=20(枠カバー用)	2本
	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本
	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本
耐荷重シール		1枚		1枚		1枚		1枚
枠カバー(左右)	102×51×6	各1枚	102×51×6	各1枚	102×51×6	各1枚	102×51×6	各1枚
L型金具	40×25×1.6	2個	40×25×1.6	2個	40×25×1.6	2個	40×25×1.6	2個
束		-		-		-	27×40×1250	1本

# 製品断面図

(単位:mm)



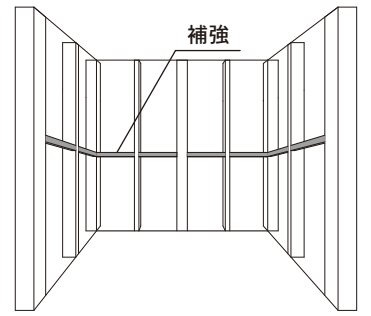
# 下地施工について

壁材(合板・石膏ボード)取り付け前に、下地の位置をご確認ください。前框・受棧のビス止め位置に下地がない場合は、必ず下地補強を施してください。

## 壁面の下地処理

棚板の受棧の取付位置に間柱・補強棧等の下地処理を施してください。

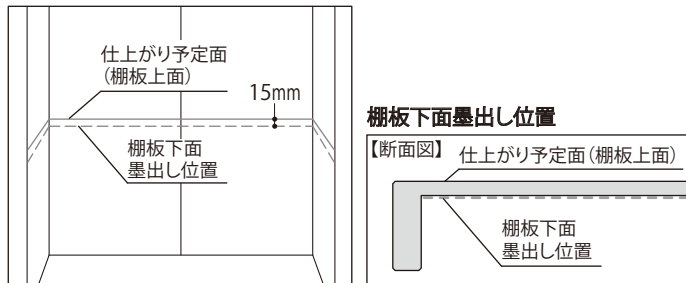
※棚板の荷重強度は下地強度によって大きく左右されます。十分な補強を行なってください。



# 施工手順

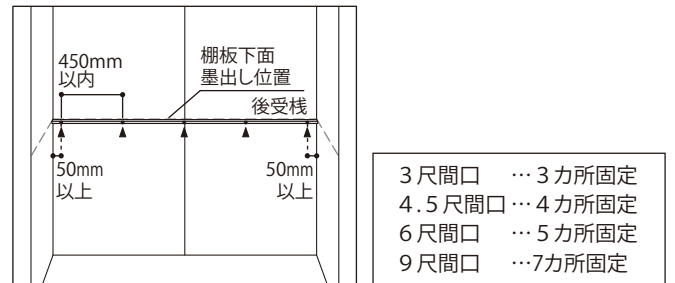
※ビスの種類・打ち位置・本数は **ビス打ちの基本本数・打ち位置** をご参照ください。

## 1 取り付け位置の墨出し



美しく正確に仕上げるために、中段仕上がり予定面(棚板上面)より約15mm下の位置に、棚板下面の墨出しを行なってください。

## 2 後受棧の取り付け



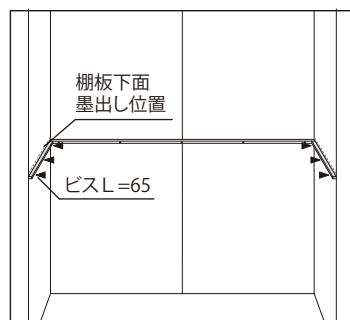
- 1.後受棧を間口にあわせカットしてください。
- 2.後受棧の上面を棚板下面墨出し位置に合わせ、ビスキャップ用ワッシャーを取り付けたビス (L=65・同梱) で固定してください。

### ご注意

- ・ビスは受棧の端から50mm以上離れた位置に打つようにしてください。
- ・ビス止めピッチは450mm以内で打つようにしてください。

- 3.ワッシャーにビスキャップを取り付けてください。

## 3 側受棧の取り付け

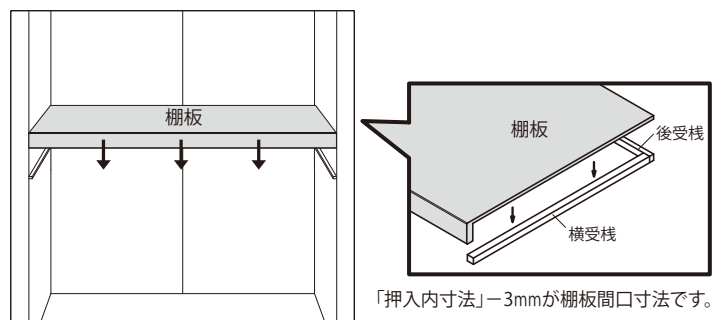


棚板下面墨出し位置に側受棧の上部を合わせ、ビスキャップ用ワッシャーを取り付けたビス(L=65・同梱)で左右3カ所ずつ固定します。その後ワッシャーにビスキャップを取り付けてください。

### ご注意

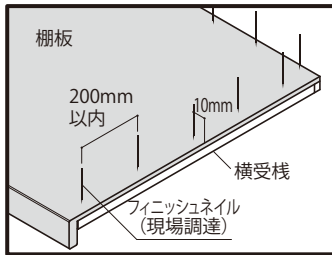
棚板の奥行を縮める場合  
「棚板仕上がり奥行」-50mmが側受棧寸法です。

## 4 中段棚板の取り付け



中段棚板を間口寸法に合わせてカットし、取り付けてください。  
カット目安寸法: 押入内寸法(間口)よりマイナス3mm  
※真壁仕上げの場合は奥行もマイナス3mm

## 5 中段棚板 受棧への固定

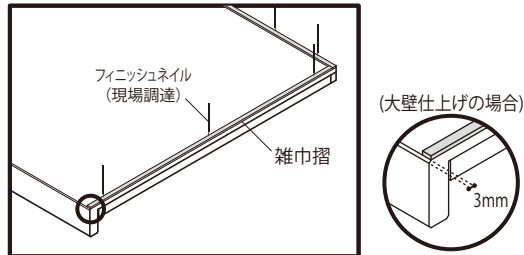


棚板をフィニッシュネイル(現場調達)で、受棧に固定してください。

### ご注意

- フィニッシュネイルはピッチ200mm以内で打つようにしてください。
- フィニッシュネイルは壁から10mm程度の位置を目安に打ってください。
- 棚板は左右の隙間が均等になるよう設置してください。

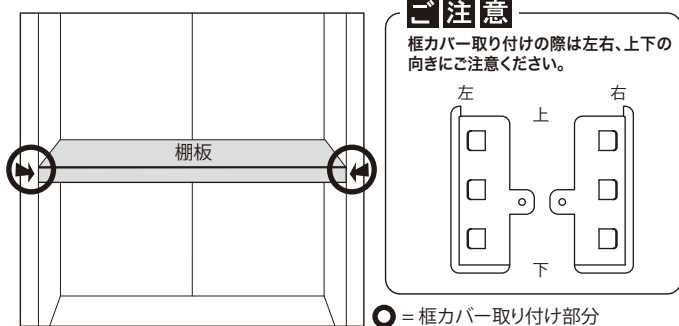
## 6 雑巾摺の取り付け



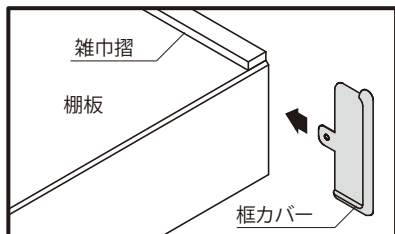
雑巾摺を適寸にカットし、棚板上の壁際にそってフィニッシュネイル(現場調達)で取り付けてください。

※大壁仕上げの場合は左右の側に取り付ける雑巾摺は框カバー分(3mm)の寸法をあけて寸法取りを行なってください。

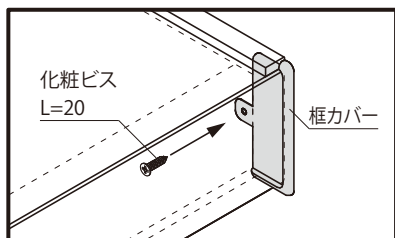
## 7 框カバーの取り付け(大壁仕上げのみ)



○ = 框カバー取り付け部分



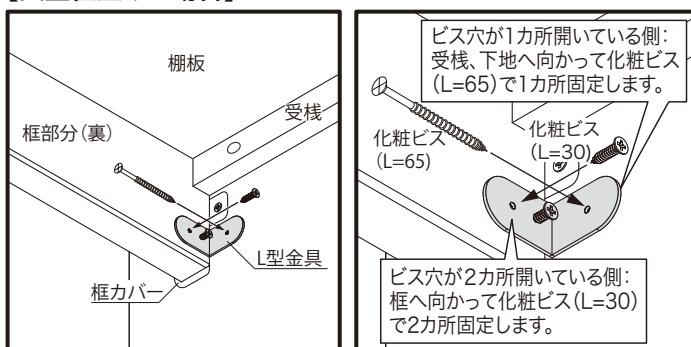
1. 壁面と框部分の隙間に框カバーを取り付けます。



2. 框カバーを棚板の框部分に隙間が隠れるように取り付けた後、内側から框カバーのビス穴に向かって化粧ビスを打ち、框カバーを壁面に固定します。

## 8 中段棚板 前框部分の固定

### 【大壁仕上げの場合】

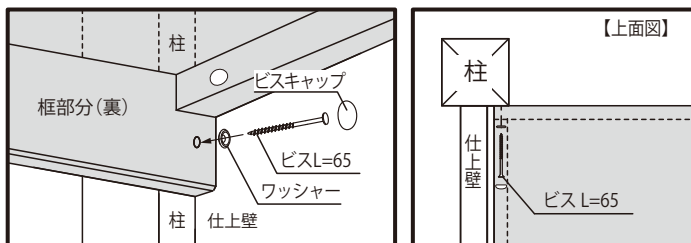


棚板両端に内側からビスを使いL型金具を取り付けます。

### ご注意

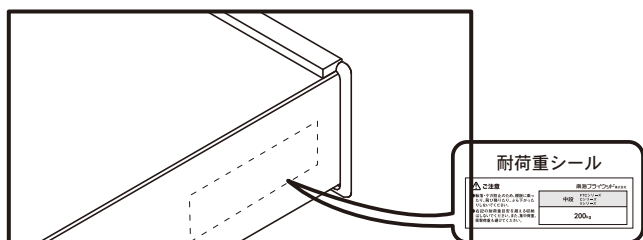
L型金具取り付け向き・使用するビスの種類にご確認ください。

### 【真壁仕上げの場合】



棚板の框部分裏面から柱に向かって、ビスキャップ用ワッシャーを取り付けたビス(L=65・同梱)で固定します。その後ワッシャーにビスキャップを取り付けてください。

## 9 完成・養生

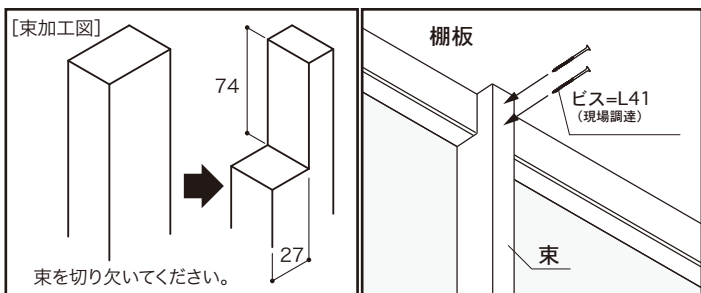


施工後は、同梱の耐荷重シールに見える箇所に貼ってください。確認後は保護のため、中段を製品のダンボールで覆って養生してください。

## 2M間口より大きい場合の補強方法

間口が2mを超える場合は、同梱の束で補強してください。(下図参照)

### 束の取り付け



ご注意 束は棚板センター位置に取り付けてください。

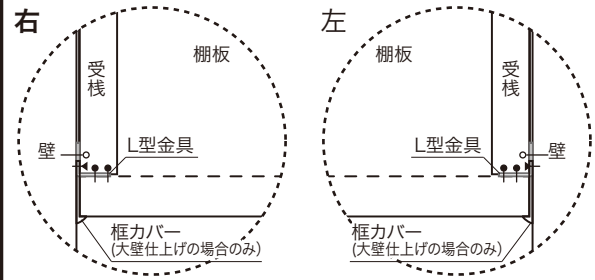
# ビス打ちの基本本数・打ち位置

↑ ビスL=65 | ↑ 化粧ビスL=65 | ↑ 化粧ビスL=30  
 ↓ 化粧ビスL=20 | - ビスキャップ

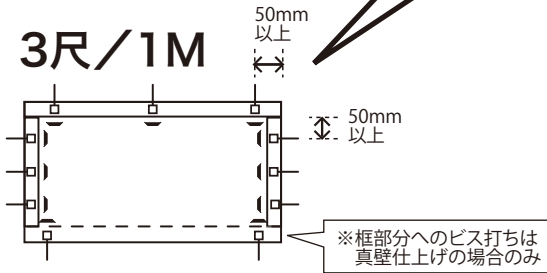
## 注意 ビス打ちの際のご注意 [全サイズ共通]

ビスは受棧の端から50mm以上離れた位置に打つようにしてください。

## 框カバー・L型金具について [全サイズ共通]



## 3尺/1M



棚板・受棧用

明細	カラー	入数
L=65 ↑	ブロンズ	11本
ビスキャップ -		13セット(予備2セット)

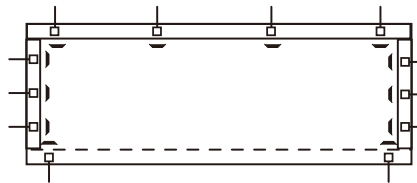
框カバー用

化粧ビス L=20	2本
-----------	----

L型金具用

化粧ビス L=30	4本
化粧ビス L=65	2本

## 4.5尺/1.5M



棚板・受棧用

明細	カラー	入数
L=65 ↑	ブロンズ	12本
ビスキャップ -		14セット(予備2セット)

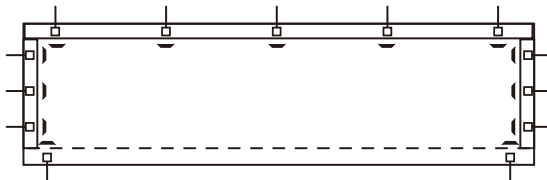
框カバー用

化粧ビス L=20	2本
-----------	----

L型金具用

化粧ビス L=30	4本
化粧ビス L=65	2本

## 6尺/2M



棚板・受棧用

明細	カラー	入数
L=65 ↑	ブロンズ	13本
ビスキャップ -		15セット(予備2セット)

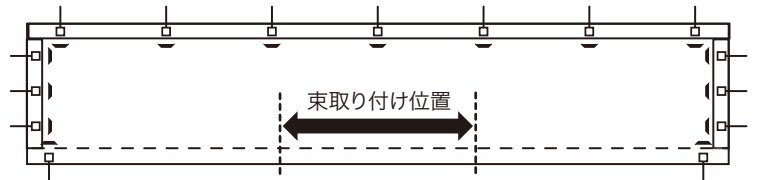
框カバー用

化粧ビス L=20	2本
-----------	----

L型金具用

化粧ビス L=30	4本
化粧ビス L=65	2本

## 9尺/3M



棚板・受棧用

明細	カラー	入数
L=65 ↑	ブロンズ	15本
ビスキャップ -		17セット(予備2セット)

框カバー用

化粧ビス L=20	2本
-----------	----

L型金具用

化粧ビス L=30	4本
化粧ビス L=65	2本

## 建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

この建築材料は以下の内容で登録しています。

発散等級区分: F☆☆☆☆

対象部位: 棚板

## 注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会表示登

発散等級	F☆☆☆☆
登録番号	K-002444
製造業者等名称	南海プライウッド株式会社
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	<a href="http://www.kensankyo.org/">http://www.kensankyo.org/</a>